

そううんじ
宗運寺古墳
～古墳の集中する地域～

今から約1500年前の古墳時代後期に多くの古墳が築られました。その多くは円形の古墳であり、横から進入できる出入り口を設けた横穴式石室に遺体を埋葬していました。山本町や財田町の財田川沿いは古墳が集中する地域のひとつです。宗運寺古墳

(山本町)は、財田川の南岸にある小丘陵の中腹に位置しており、直径12～16mの円墳の中に、全長約6mの横穴式石室が造られています。昭和45年11月3日に山本町指定史跡となり、現在は市指定史跡になっています。平成3年の台風により石室が崩壊するおそれがあったため、石室を埋めて保存する処置が取られ、今は中に入ることはできません。

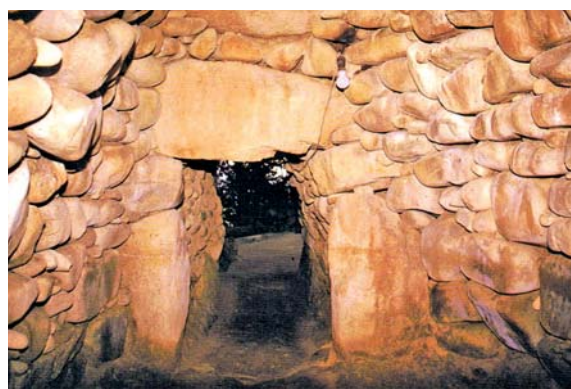
宗運寺古墳は、2回の発掘調査により、石室内から須恵器、銅環(耳飾のこと)、小刀片、鉄器片などの遺物が出土したことから、6世紀中頃に築造され、7世紀前半にかけて数人が埋葬されたと考えられています。また、近世の土器も出土しているため、石室は後世に再利用された可能性が考えられます。石室の奥側の壁などの石の積み方は、近くの山辺古墳(山本町辻)でもみられ、両古墳に眠る人々は交流を行っていたと推測できます。

8月1日より、宗運寺古墳に近接する吉田古墳群の遺物を「宗吉かわらの里展示館」にて展示しています。ぜひ足を運んでみてください。

<生涯学習課>



▲石室入り口



▲石室内部(現在は埋められて入れません)

今月の市民力

民生委員・児童委員は各地域で相談を受けたり、地域活動に参加したりと多くの場面で活動しています。最近では、勧誘電話や訪問販売等が増えたことで電話をすることも、訪問することも少し気をを使うようですが、多くの人を笑顔にするため、熱心に取り組んでいます。困りごとがある人は民生委員・児童委員に声を掛けてください。あなたの身近な相談相手となってくれることでしょう。

